



第30週の発生動向 (2004/7/19~2004/7/25)

- 1 咽頭結膜熱については、減少傾向にあります。先週に引き続き弘前、五所川原、上十三保健所管内で**警報**が出されています。
- 2 ヘルパンギーナについては、先週に引き続き、むつ保健所管内で**警報**が出されています。青森及び弘前保健所管内では、患者数の多い状態が続いていることから、今後とも注意が必要です。

第30週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0	0.00	
(60) 咽頭結膜熱	2	0.25	8	0.80	1	0.11	1	0.20	2	0.33		0.00	14	0.33	-8
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.00	8	0.80	3	0.33		0.00	8	1.33	4	1.00	23	0.55	-6
(62) 感染性胃腸炎	23	2.88	8	0.80	3	0.33	2	0.40	7	1.17	3	0.75	46	1.10	-18
(63) 水痘	9	1.13	3	0.30	4	0.44	3	0.60	2	0.33	2	0.50	23	0.55	-43
(64) 手足口病	3	0.38	3	0.30	2	0.22		0.00		0.00		0.00	8	0.19	6
(65) 伝染性紅斑	7	0.88	1	0.10	1	0.11		0.00		0.00	1	0.25	10	0.24	3
(66) 突発性発疹	5	0.63	11	1.10	4	0.44		0.00	2	0.33	3	0.75	25	0.60	-2
(67) 百日咳		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0	0.00	
(68) 風疹		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0	0.00	-1
(69) ヘルパンギーナ	33	4.13	43	4.30	3	0.33	5	1.00	10	1.67	19	4.75	113	2.69	28
(70) 麻疹(成人を除く)		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0	0.00	
(71) 流行性耳下腺炎	6	0.75	1	0.10	10	1.11	3	0.60	1	0.17	1	0.25	22	0.52	-7
(73) 急性出血性結膜炎		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0	0.00	
(74) 流行性角結膜炎		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0	0.00	-2

	定点数			
	インフルエンザ	小児科	眼科	基幹
青森	13	8	2	1
弘前	15	10	3	1
八戸	14	9	2	1
五所川原	7	5	1	1
上十三	9	6	2	1
むつ	6	4	1	1
合計	64	42	11	6

インフルエンザ定点については、内科定点と小児科定点を合わせたものです。

■ は注意報、■ は警報です。 「空欄」: 患者発生数0

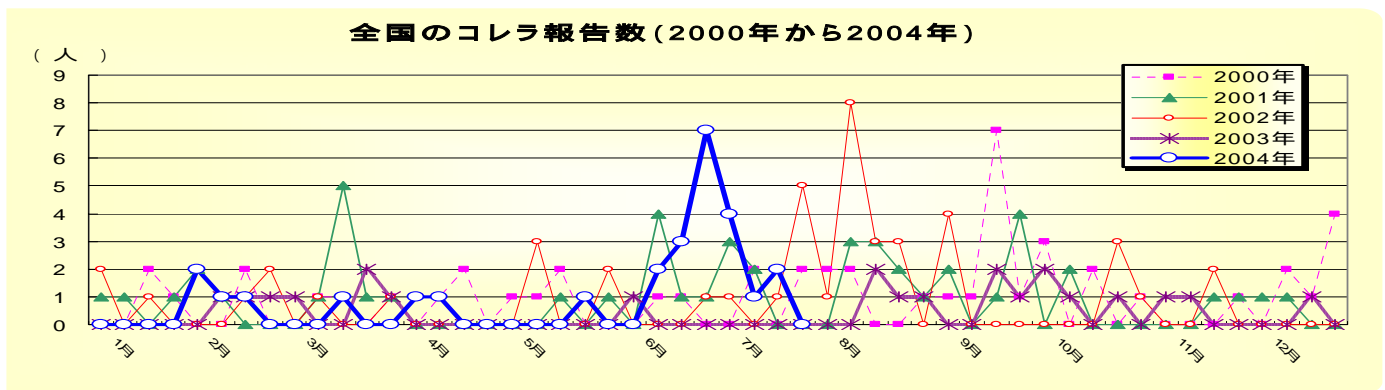
表 以外の感染症法対象疾患 (16年計には、今回届出された人数を含む)

- (14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患) 五所川原保健所管内 1人 (16年計 6人)
- (82) マイコプラズマ肺炎(五類定点把握疾患) 八戸保健所管内 2人 (16年計 71人)

感染症の窓

海外渡航者におけるコレラ患者発生情報

発生状況 コレラは世界中に分布していますが、特に**熱帯、亜熱帯地域**に多く見られます。今年、海外渡航者が感染したと思われる国には**タイ、フィリピン、インド、中国**があります。6月には海外渡航者18名の発生報告があり、その半数以上がフィリピンで感染したと思われます。これから長期休業などによる海外旅行の場合には感染予防に十分注意する必要があります。(出典:厚生労働省検疫所ホームページ)



病原体
症状・経過

Vibrio cholerae.

潜伏期間は数時間~5日です。水溶性下痢、腹痛、脱水。
コレラ菌に**汚染された飲食物(生水、生野菜、生ジュース等)**を摂取して感染します。